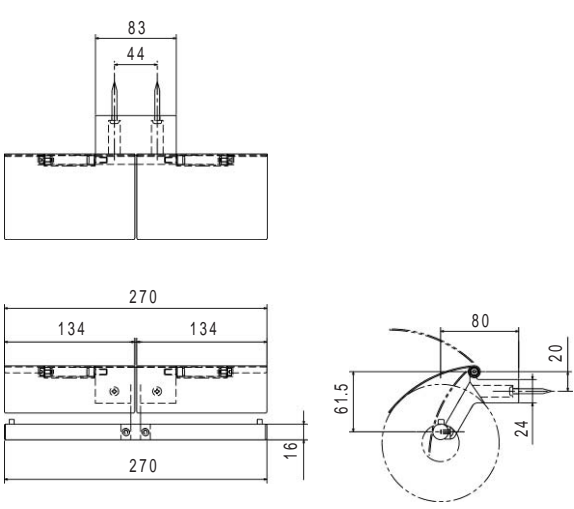
INAX

TFシリーズ

タオル棚	FKF-40F/C
二段タオル掛	FKF-11WF/C
	FKF-12WF/C
二連紙巻器	FKF-60F/C

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

●商品図

FKF-40F/C 同梱部材

	数量
右ブラケット	1
左ブラケット	1
タオルバー	5
固定ブラケット	2
ブラケット固定小ねじ（とがり先）	4
パイプ用スポンジ	10
φ4.0タッピンねじ	4
施工説明書	1
取扱説明書	1
型紙	1

品　番	L1寸法	L2寸法
FKF-11WF/C	390	412
FKF-12WF/C	590	612

二段タオル掛 同梱部材

	数量
右上部台座	1
右下部台座	1
左上部台座	1
左下部台座	1
連結金具	2
タオルバー	2
回転止め小ねじ（平先）	2
固定ブラケット	4
台座固定小ねじ（とがり先）	4
φ4.0タッピンねじ	4
施工説明書	1
取扱説明書	1
型紙	1

FKF-60F/C 同梱部材

	数量
二連紙巻器	1
φ4.0タッピンねじ	2
施工説明書	1
取扱説明書	1

● 紙巻器は左右125mmのペーパー交換のためのスペースを確保してください。

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

 ……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

 ……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

⚠注　意

二連紙巻器、タオル棚、二段タオル掛は、プラスチックプラグで施工しないでください。
※強度不足によりガタついたり脱落する恐れがあります。

二段タオル掛は、浴室内に設置しないでください。
※ブラケット形状が角型で出寸法が大きいため、からだにあたるとケガの恐れがあります。

タオル棚、二段タオル掛は、必ず型紙を使って施工してください。
※下穴がずれると、取り付かない場合があります。

●施工前のご注意

●落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件をお守りください。

●取付面に凹凸がないことを確認してください。
※3㎜以上凹凸があると取り付けられない場合があります。凹凸を削るかスペーサーを使用してフラット面を確保してください。

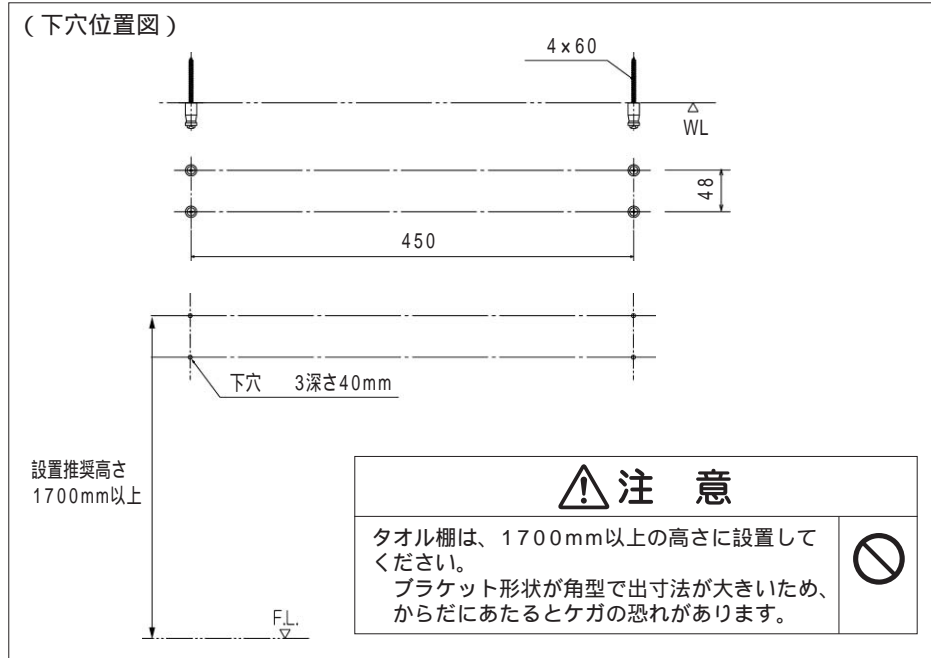
〔乾式壁の場合〕

- 取付部材としてタッピンねじ（同梱）を使用してください。
- ねじ込み深さが20㎜以上になるように取付木（補強木）を設けてください。
- 石こうボード等のボード張りにはタッピンねじはききません。必ずあらかじめ壁裏に取付木を入れ、ねじ込み深さ（20㎜）を確保してください。
- ボード張りの厚さは12.5㎜以下を想定しています。厚さが12.5㎜を越える場合は越えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。

〔湿式壁の場合〕

- 取付部材としてAYボルト（別売）を使用してください。
  ※AYボルトを使用した取付け方法詳細は、工事用図面集を参照してください。
- 壁仕上材（モルタル、モルタル＋タイル等）の厚さは、30㎜以下 としてください。
- AYボルトは壁仕上材の厚みによって下表の通り使い分けてください。
- ALC板やコンクリートブロックの中空部にはAYボルトは固定できません。
- 木ずり下地、ラスボード下地への取付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

〔取付ねじの種類と下穴寸法〕

取付ねじ	下　　穴	備　　考
タッピンねじ（φ4.0）	φ3.0×55㎜	付属品
AYボルト	φ7.5×50㎜（AY-21） φ7.5×55㎜（AY-22） φ9.0×55㎜（AY-84）	AYボルトは別売 詳細は「施行前のご注意」をご覧ください。

株式会社INAX

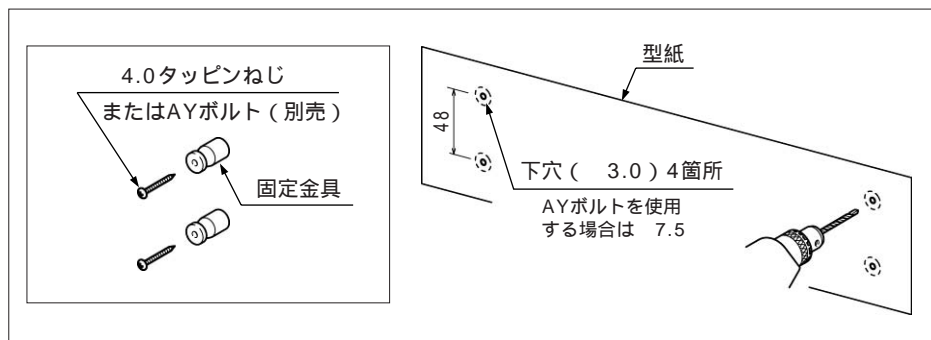
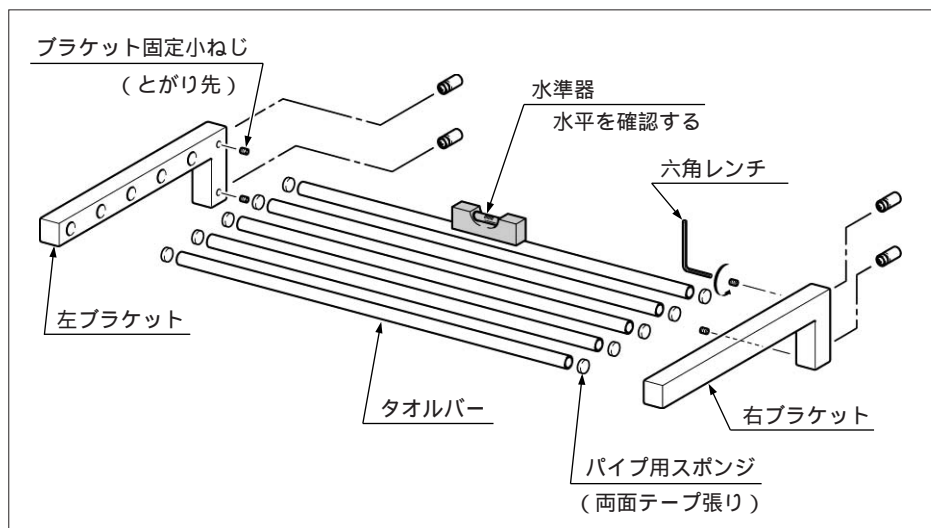
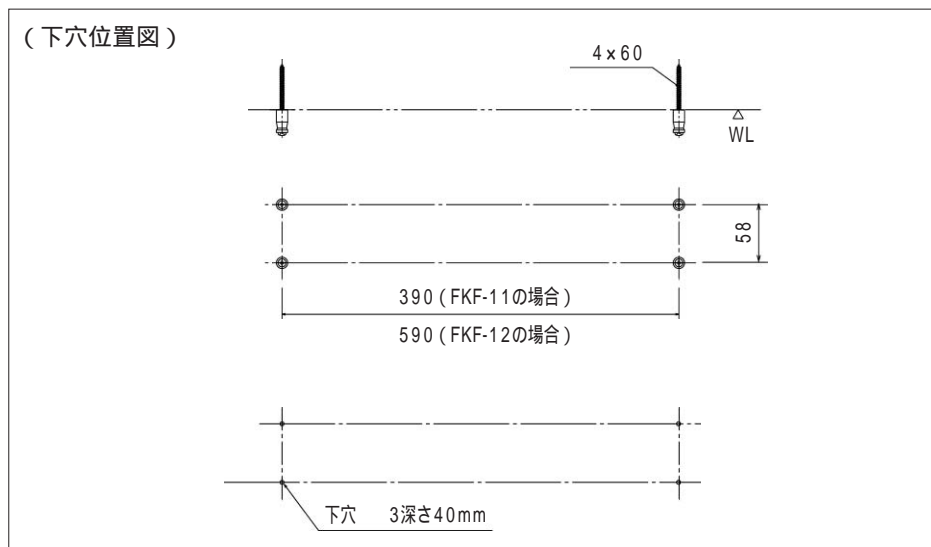
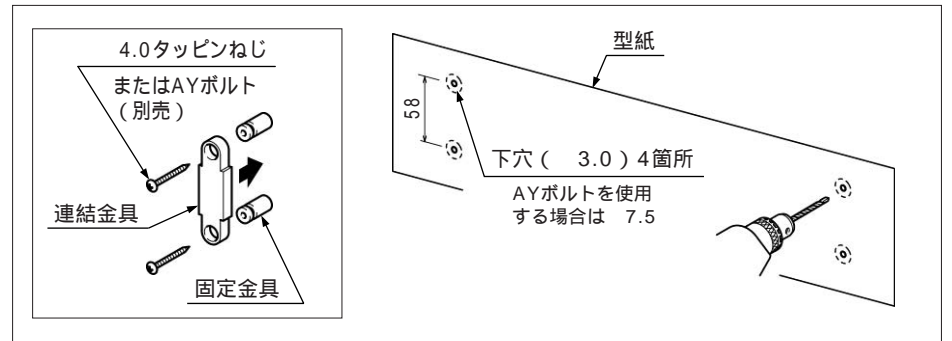
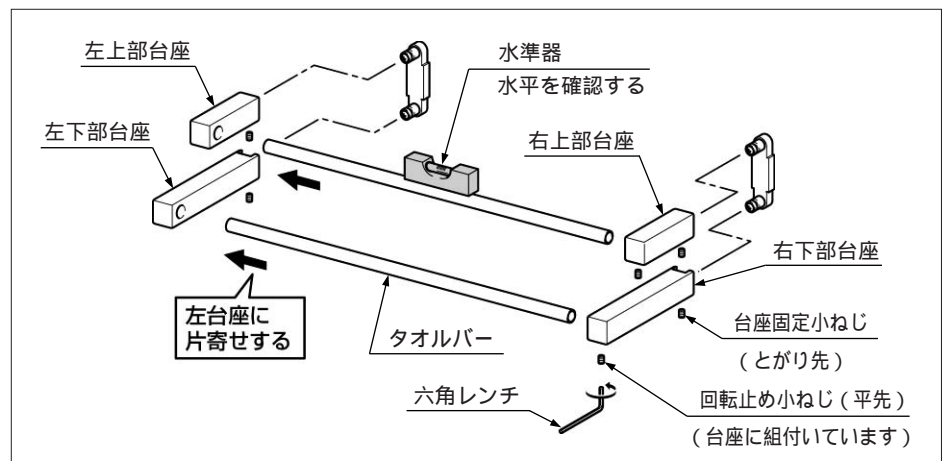
●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル　TEL 0570-017173

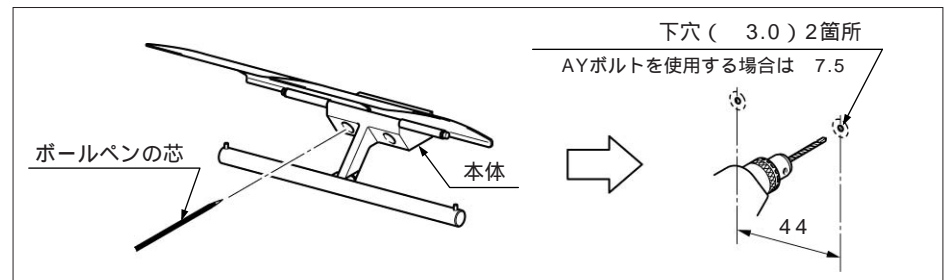
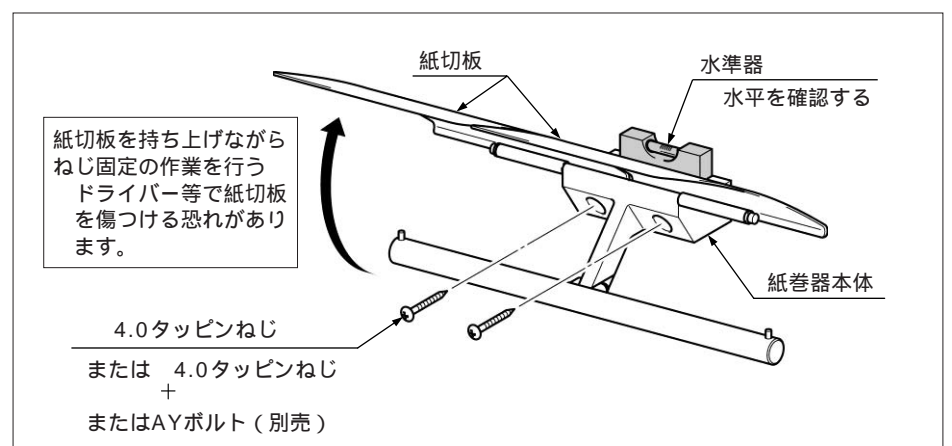
受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日10:00～18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）

※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などご利用できません。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

●施工方法

〔タオル棚の場合〕

1．固定金具を取り付ける壁の施工位置に型紙を張り、下穴の位置をけがきます。
つづいて、けがき位置に下穴をあけます。
※下穴は寸法を測定し、正確にあけてください。
2．タッピンねじまたはAYボルトで、固定金具を取り付けます。
※タッピンねじまたはAYボルトは最後までしっかりとねじ込んでください。

3．タオルバー両サイドにパイプ用スポンジを取り付けます。
4．タオル棚を組み付けし、ブラケットを固定金具にブラケット固定小ねじ（とがり先）でしっかりと取り付けます。
※タオルバーが水平に取り付いていることを確認してください。

〔二段タオル掛の場合〕

1．固定金具を取り付ける壁の施工位置に型紙を張り、下穴の位置をけがきます。
つづいて、けがき位置に下穴をあけます。
※下穴は寸法を測定し、正確にあけてください。
2．タッピンねじまたはAYボルトで、固定金具を取り付けます。
※タッピンねじまたはAYボルトは最後までしっかりとねじ込んでください。
3．連結金具を固定金具に通し組み付けます。

4．二段タオル掛を仮組みし、台座を固定金具に台座固定小ねじ（とがり先）でしっかりと取り付けます。
※タオルバーが水平に取り付いていることを確認してください。
5．台座下側からタオルバーを回転止め小ねじ（平先）でしっかりと固定します。
※タオルバーは左台座に片寄せして、回転止め小ねじを締め付けてください。
※しっかりと固定されていないと、使用中にバーが外れてケガをする恐れがあります。

〔二連紙巻器の場合〕

1．取り付ける壁の施工位置に合わせて、紙巻器本体を取付面に当て、取付穴の位置をけがきます。
つづいて、けがき穴位置に下穴をあけます。
※下穴は寸法も確認し、正確にあけてください。

2．タッピンねじまたは、タッピンねじとAYボルトで、紙巻器を取り付けます。
※タッピンねじまたはAYボルトは最後までしっかりとねじ込んでください。
※施工時、紙切板を上に持ち上げ、ドライバー等で傷つけないように注意してください。
※紙巻器が水平に取り付いていることを確認してください。

●施工後の注意

固定金具にガタつきがなく、しっかりと壁に固定されていることを確認してください。
※タオル棚、二段タオル掛に付属の専用工具（六角レンチ）は施工後、この説明書といっしょにお客さまにお渡しください。